

Diversity(多様性)Equity(公平性)Inclusion(包摂性)
多様な人たちが互いを認め合うとともに、それぞれの持ち味を発揮して生き生きと活躍し、皆が温かく包み込まれる社会をめざして



持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択され、2030年までに達成することを目指しているものです。
この17の目標の一つに、「**目標5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う**」があります。エンパワーメントとは、一人ひとり本来すばらしい力を持っており、その力を最大限に発揮していこうという考えです。
この実現のために、日本政府はもちろんのこと、さまざまな会社や団体、国民一人一人に至るまで自らが取り組めることを決め、実践していく気運が高まっています。
性別によらない中高生の制服の導入も、この取組の一つといえます。

中学校統一型制服の導入によって実現したいこと

昨年度、中学校校長会が中心となって「大村市立中学校新標準服検討委員会」において、このことについて研究・検討しました。
その検討結果を参考にしながら、本年度からは市教育委員会において検討を重ね、令和6年度からの導入を目指します。
そして、導入により次のようなことを実現したいと考えています。

- ①性別で指定されることのない選択できる制服(ジェンダーレス制服)を導入し、多様な中学生の自分らしさを応援します。
- ②制服の生地やデザインなどを工夫して、近年の気温の上昇や室内の空調導入による気温差に対応して中学生が自己調整できるように、またさまざまな活動が行いやすくなるようにします。
- ③丈夫な生地、体の成長に合わせられるデザイン、家庭で洗濯がしやすい素材などを工夫し、3年間着用できるようにします。
- ④統一型にすることで、どの中学校に通学しても同価格で購入でき、市内全体で再利用(リユース)の大幅促進にもつなげます。※これはSDGs目標12に関連しています。
- ⑤スラックス・キュロットを採用し、安全性や防犯度を向上させます。それに伴って、先生たちの生徒指導の仕事も軽減できます。
- ⑥市内にはとても大きな規模の学校から、とても小さい規模の学校まで幅広くあります。これをちょうど良い規模の学校に整えていきますが、通学する学校が変わる場合に制服を買い替えるという問題が発生しません。また、統一型にすることで、いろいろな理由で転校するときも買い替えなくてもよいようにします。
- ⑦皆さんの意見や要望等を取り入れてデザイン化を行うなどすることで、大村に合った長期間愛用される制服にします。



現在(市立6中学校)

- 5校
【男子】詰め襟学生服・ズボン
【女子】セーラー服・スカート
1校
【男子】ブレザー・スラックス
【女子】ブレザー・スカート

〔男女間の価格差〕あり
〔学校間の価格差〕1万円程度あり



令和6年度から

全学校
ジェンダーレス制服

〔男女間の価格差〕なし
〔学校間の価格差〕なし

- | | |
|--|---|
| <p>(1)男女共通(ユニセックス)タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上着(ブレザー等)は、左前、右前が自由に換えられる。 ・スラックスは、男女の体型の違いに合わせた、又は逆に違いが出にくいデザイン。 ・エンブレム等で、学校の違いが出せるようにできる。 | <p>(2)組合せタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の上着に、スラックスやスカート、ネクタイやリボンを選んで組み合わせる。 |
|--|---|

ジェンダーレス制服のタイプ

★今号は、主に小中学生向けに作成しました。

○小学4年生から中学3年生までの皆さんには、統一型制服についての考えを教えてください。帰りの会などで、担任の先生に説明をもらいながらアンケートに教えてください。



※保護者の皆様には、このことについてのお知らせとお願いの文書を学校から配付しています。アンケートフォームは同じです。右の二次元コードから回答することができます。